

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	知能機械情報論		
英文授業科目名	Topics on Informatics for Intelligent Machinery		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-知能機械工学専攻-基礎科目		
開講学科・専攻	知能機械工学専攻		
担当教官名	高田 昌之		
居室	総合研究棟 4 4 2		

公開E-Mail	授業関連Webページ
takata@cc.uec.ac.jp	http://www.tl.cc.uec.ac.jp/~takata/lecture/intel.html

<p>【主題および達成目標】</p> <p>機械システムを知的に振る舞わせることを目的として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識をどのように表現するか、 ○ その知識をどのように利用するか、 ○ そのためには機械システムにどんなものを組み込めば良いのか、 <p>といった事柄について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 手続き的な知識記述の方法、および ○ 推論による問題解決 <p>を中心に述べる。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
特になし

【授業内容とその進め方】
主な講義内容としては、 ○ 知性とは何か ○ 基本的データ構造とアルゴリズム ○ データモデルと計算モデル ○ 知識記述と言語処理系 ○ プログラミング言語 LISP ○ 手続き型言語インタプリタの実装 ○ 知識記述の方法 ○ 記号論理と導出原理 ○ 木探索とバックトラック ○ 知識ベースシステム ○ メタ知識に依る知識管理 ○ 集団によって示される知性

電気通信大学 平成18年度シラバス

o 知性と行動

等を予定しているが、聴講学生の興味に応じて柔軟に対応したい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義の要所要所において出題する設問に対するレポートと、学期末に出題する課題に対するレポートとによって評価する。

振る舞いを記述するための情報構造というものを理解し、充分に利用できるようなれば良い。

【オフィスアワー：授業相談】

いつでもアポイントメントを取ったうえで訪ねて来てほしい。

【学生へのメッセージ】

特定のプログラミング言語の知識は必須ではないが、何かひとつのプログラミング言語に通じていることが望ましい。

【その他】